

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	311.2	訪問入浴サービス事業	会計	01	一般会計
基本施策	5	障がいのある人等の自立した生活を支える	款	03	民生費
担当部課名	健康福祉部高齢障害課		項	01	社会福祉費
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	目	04	障害福祉費
			細目	102	障害者保護費
			細々目	02	身体障害者保護事業(補助金分)

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を) 居宅において重度身体障害者を入浴させることが困難な家庭	成果(どうなるのか) 当該重度身体障害者及びその家族の福祉の向上を図る			
本年度事業内容	<p>●重度身体障害者訪問入浴サービス事業</p> <p>対象者 : 市内に居住する重度身体障害者等で、デイサービスを利用することが困難で、医師が入浴可能と認めた者 (制度の利用可否は、市が認定)</p> <p>利用負担 : 世帯の所得状況により0円から12,500円までの間で負担。</p> <p>委託料 : 1件あたり12,500円(介護保険における訪問入浴介護と同単価)の委託料を事業所に支払う。</p> <p>委託先 : 社会福祉法人いがほくぶに事業を委託</p>				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業実施

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	2,250	2,375	2,925
	委託料	2,250	2,375	2,925
	その他			
	合計(A+B)	2,970	3,095	3,645
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	1,687		
	地方債			
	受益者負担	0	0	0
一般財源	1,283	3,095	3,645	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用実人員	人	5	6	7			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
利用実人員	利用実人員を指標とする	人	5 目標 (10)	6	7
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> 旧上野市から社会福祉法人いがほくぶへ委託してきた経緯があるが、委託業者については、今後必要に応じて見直しを行う。 通所施設のハード面での制約、本人の身体状況や精神状況等により、通所ができない重度障害者は存在することから、継続して支援していく必要がある。 必要な方に本制度が利用できるよう、障害者相談支援センター等へ周知啓発を行っている。 平成18年10月からは、障害者自立支援法の地域生活支援事業へ移行予定。

評価	必要性	4	重度の障がいのある方に対するサービスは必要であるが、今後必要な方にサービスが提供されるように周知啓発の強化に努める。また利用者負担については、障害者自立支援法の施行に伴い、他のサービスと均衡が取れるように見直す必要がある。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A